

令和 6 年度

第 2 回学校運営協議会

第 2 回 学校関係者評価委員会資料

学校評価 児童中間アンケートの結果より

期間:6 月 24 日(月)～ 6 月 27 日(木)

対象:1 年生～6 年生 416名

形式:オンライン調査による調査(4 件法 項目により2件法)

項目:「運動」「人権」「生活」「学習」の 4 項目



令和 6 年 10 月 1 日

生駒市立生駒東小学校

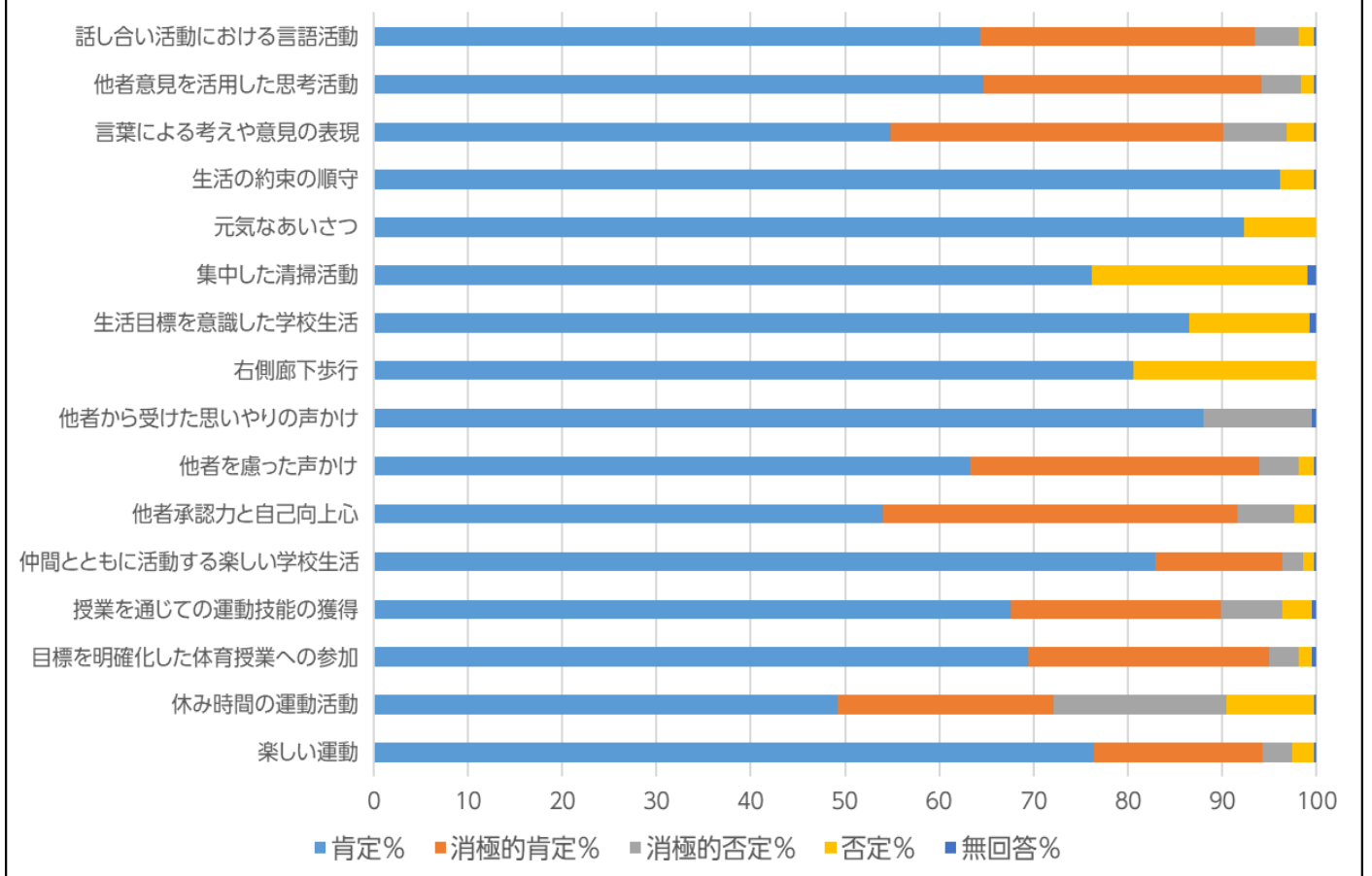
資料(アンケート)

分類	番号	項目	肯定	消極的肯定	消極的否定	否定	無回答
運動	1-①	楽しい運動 運動することは楽しいですか。	楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない	無回答
	1-②	休み時間の運動活動 休み時間に、外で元気にからだを動かしましたか。(委員会当番の日は除く)	毎日動かし た	ときどき動 かした(週に 3・4日)	どちらかとい うと、動かさな かった(週に1・2 日)	どちらかとい うと、動かさな かった(週に1・2 日)	無回答
	1-③	目標を明確化した体育授業への参加 体育の授業を、一生懸命できましたか。(体育の授業で、めあてをもって取り組むことができましたか。)	一生懸命で きた(でき た)	どちらかとい うとできた	どちらかとい うとできな かった	できなかった	無回答
	1-④	授業を通じての運動技能の獲得 体育の授業を通して、できることが増えたり、記録をのばしたりできましたか。	たくさんふ えた(でき た)	ふえた(ど ちらかとい うとでき た)	すこしふえた(ど ちらかとい うとでき なかつた)	ふえなかつた(で きなかつた)	無回答
人権	2-①	仲間とともに活動する楽しい学校生活 友だちと いっしょに 遊んだり 勉強したりするの が楽しいですか。(低学年) 学校生活(遊び、学習、当番活動)で、友だちと ともに活動するのは楽しいですか。(中高学年)	楽しい	どちらかとい うと楽しい	どちらかとい うと楽しく ない	楽しくない	無回答
	2-②	仲間とともに活動する楽しい学校生活 仲間(友達)ががんばる様子を見て「自分もが んばろう」と思うことはありますか。	よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
	2-③	他者を慮った声かけ 相手のことを考えて、優しく声をかけることが できましたか。	できた	どちらかとい うとできた	どちらかとい うとできな かった	できなかった	無回答
	2-④	他者から受けた思いやりの声かけ 友だちに、優しく声をかけてもらったことはあ りますか。	かけてもら えた		あまりかけてもら えなかつた		無回答
生活	3-①	右側廊下歩行 廊下では、右側を歩くことができていますか。	はい			いいえ	無回答
	3-②	生活目標を意識した学校生活 毎月の生活目標を意識し、守ろうとしています か。	はい			いいえ	無回答
	3-③	集中した清掃活動 掃除と関係のない話をせず、サイレント掃除に 取り組んでいますか。	はい			いいえ	無回答
	3-④	元気なあいさつ 自分から相手に聞こえる元気なあいさつができて いますか。	はい			いいえ	無回答
	3-⑤	生活の約束の順守 自分や相手を大切にするために、生活の約束を 守れていますか。	はい			いいえ	無回答
学習	4-①	言葉による考えや意見の表現 相手に自分の考えや意見を言葉で伝えることが できました。	できた	どちらかとい うとできた	どちらかとい うとできな かった	できなかった	無回答
	4-②	言葉による考えや意見の表現 友達の考えや意見を聞いて、考えを深めること ができました。	できた	どちらかとい うとできた	どちらかとい うとできな かった	できなかった	無回答
	4-③	話し合い活動における言語活動 話し合い活動等の中で、自分の思いを伝えたり、 相手の考えや意見を聞いたりすることができ た。	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい うとそう思 わない	そう思わない	無回答

R6中間 全校児童アンケート

分類	番号	全校	肯定%	消極的肯定%	消極的否定%	否定%	無回答%
		項目					
運動	1-①	楽しい運動	76	18	3	2	0
	1-②	休み時間の運動活動	49	23	18	9	0
	1-③	目標を明確化した体育授業への参加	69	25	3	1	0
	1-④	授業を通じての運動技能の獲得	68	22	6	3	0
人権	2-①	仲間とともに活動する楽しい学校生活	83	13	2	1	0
	2-②	他者承認力と自己向上心	54	38	6	2	0
	2-③	他者を慮った声かけ	63	31	4	2	0
	2-④	他者から受けた思いやりの声かけ	88		12		0
生活	3-①	右側廊下歩行	81			19	0
	3-②	生活目標を意識した学校生活	87			13	1
	3-③	集中した清掃活動	76			23	1
	3-④	元気なあいさつ	92			8	0
	3-⑤	生活の約束の順守	96			4	0
学習	4-①	言葉による考えや意見の表現	55	35	7	3	0
	4-②	他者意見を活用した思考活動	65	29	4	1	0
	4-③	話し合い活動における言語活動	64	29	5	2	0

R6中間 全校児童アンケート



考察

○今回の中間アンケートで児童の肯定的意見が高い割合だった項目は、「楽しい運動」「目標を明確化した体育授業への参加」「授業を通じての運動技能の獲得」「仲間とともに活動する楽しい学校生活」「他者承認力と自己向上心」「他者を慮った声かけ」「元気なあいさつ」「生活の約束の順守」「言葉による考えや意見の表現」「他者意見を活用した思考活動」「話し合い活動における言語活動」の11で、いずれも90%以上の児童が肯定的な評価をしている。特に「目標を明確化した体育授業への参加」「仲間とともに活動する楽しい学校生活」「生活の約束の順守」の3項目は、95%以上の児童が肯定的な評価をしており、多くの学年で高い達成率であった。これらの項目については、前半の教育活動において十分達成できたといえる。「生活の約束の順守」といった規範意識の獲得は、集団活動の場である学校生活において必要不可欠であり、落ち着いた学習をするうえでも大切な要素である。このことから本校の児童は、多くの児童が落ち着いた学校生活を送っているといえ、前半の教育活動においては大きな問題は無く、概ね安定した教育活動が展開されていたといえる。後半の教育活動においてもこれらの点を大事にして教育活

R6中間 全校児童アンケート

分類	全校		肯定意見 (%)	否定意見 (%)	無回答 (%)
	番号	項目			
運動	1-①	楽しい運動	94	6	0
	1-②	休み時間の運動活動	72	28	0
	1-③	目標を明確化した体育授業への参加	95	5	0
	1-④	授業を通じての運動技能の獲得	90	10	0
人権	2-①	仲間とともに活動する楽しい学校生活	96	3	0
	2-②	他者承認力と自己向上心	92	8	0
	2-③	他者を慮った声かけ	94	6	0
	2-④	他者から受けた思いやりの声かけ	88	12	0
生活	3-①	右側廊下歩行	81	19	0
	3-②	生活目標を意識した学校生活	87	13	1
	3-③	集中した清掃活動	76	23	1
	3-④	元気なあいさつ	92	8	0
	3-⑤	生活の約束の順守	96	4	0
学習	4-①	言葉による考えや意見の表現	90	10	0
	4-②	他者意見を活用した思考活動	94	6	0
	4-③	話し合い活動における言語活動	93	6	0

肯定的意見が90%以上

否定的意見が21%以上

肯定的意見90～100%

肯定的意見80～89%

否定的意見41%以上

否定的意見31%以上

否定的意見21～30%

動を進めていきたい。しかしながら、それぞれの項目において、学年間で達成率に開きが見られることも事実である。後半の教育活動においては、全ての学年で安定した達成がなされるように、さらに取組の強化を図っていきたい。

○どの学年も肯定的意見の割合が高く、安定した教育活動が行われていると考えられるが、その中でも、1年生と5年生が肯定的意見の割合の高い項目が多く、16項目中15項目で肯定的な評価をしている。16項目中14項目で肯定的な評価をしている学年は、3年生、4年生、6年生である。2年生は、肯定的な評価が16項目中12項目にとどまり、他の学年に比べると、評価が低い傾向にあった。また、5年生、6年生は、肯定的な評価をしている項目は多いが、「休み時間の運動活動」については、5年生は31%が否定的な評価をし、6年生は57%が否定的な評価をしている。このように項目によっては、他の項目と比較して達成率が低い傾向のものも見られる。児童が、今よりも楽しく充実した学校生活を送るために、また、児童が自身を認められるといった自己肯定感の獲得のためにも、各項目で肯定評価が多いことがよいのは言うまでもないことである。後半の教育活動において、低評価であった項目に重点的に取り組み、改善を図っていきたい。

○否定的意見が高い割合だった項目は、「休み時間の運動活動」「集中した清掃活動」の2項目で、それぞれ28%、23%の児童が、否定的な回答をしていた。「休み時間の運動活動」は、1年生、2年生は達成率が95%を超えているのに対し、3年生では72%、4年生では75%、5年生では69%、6年生では43%の達成率と、急に達成率が下がっている。今年は、例年にも増して猛暑であり、熱中症予防の点からもなかなか外遊びがしにくかったことが原因としてあげられるかもしれない。しかし、原因はそれだけではないだろう。外遊びには、運動機能面の向上だけでなく、休み時間に十分に体を動かすことで、その後、気持ちを切り替えて落ち着いて学習することができるなどの効果も期待することができる。児童が外遊びに対して興味や関心が持てるような工夫をしていきたい。「集中した清掃活動」は、「休み時間の運動活動」に次いで評価が低かった項目で、達成率が8割台の学年があるかと思えば、達成率が6割台の学年もあり、学年間で評価にばらつきが見られた項目である。サイレント掃除は、ただ単純に静かに掃除をすることが目的ではなく、静かに集中して掃除をすることで、みんなが使う物や場所をきれいにするといった公共性や勤労意識の醸成を図る教育活動である。あらためて、そういった点を児童らにしっかりと理解させて清掃活動に取り組みせ、改善を試みていきたい。

各項目の考察

R6中間 各学年及び全校児童アンケート

分類番号	項目	肯定的意見(%)							否定的意見(%)							無回答(%)						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
運動	1-① 楽しい運動	95	98	95	97	96	87	94	5	2	3	3	4	13	6	0	0	2	0	0	0	0
	1-② 休み時間の運動活動	95	96	72	75	69	43	72	5	4	26	25	31	57	28	0	0	2	0	0	0	0
	1-③ 目標を明確化した体育授業への参加	91	98	92	99	96	94	95	9	2	7	1	3	6	5	0	0	2	0	1	0	0
	1-④ 授業を通じての運動技能の獲得	86	75	93	94	96	91	90	14	25	5	6	4	8	10	0	0	2	0	0	1	0
人権	2-① 仲間とともに活動する楽しい学校生活	93	95	97	97	96	100	96	7	5	2	3	4	0	3	0	0	2	0	0	0	0
	2-② 他者承認力と自己向上心	86	87	92	96	94	92	92	14	13	7	4	6	8	8	0	0	2	0	0	0	0
	2-③ 他者を慮った声かけ	89	95	93	96	94	95	94	11	5	5	4	6	5	6	0	0	2	0	0	0	0
	2-④ 他者から受けた思いやりの声かけ	84	71	90	88	92	95	88	16	29	8	12	8	3	12	0	0	2	0	0	1	0
生活	3-① 右側廊下歩行	78	73	75	81	81	91	81	22	27	25	19	19	9	19	0	0	0	0	0	0	0
	3-② 生活目標を意識した学校生活	91	84	85	88	84	87	87	9	13	13	12	16	13	13	0	4	2	0	0	0	1
	3-③ 集中した清掃活動	82	68	80	72	83	71	76	18	30	16	28	17	28	23	0	2	3	0	0	1	1
	3-④ 元気なあいさつ	93	93	97	90	91	92	92	7	7	3	10	9	8	8	0	0	0	0	0	0	0
	3-⑤ 生活の約束の順守	95	89	98	96	98	99	96	5	9	2	4	2	1	4	0	2	0	0	0	0	0
学習	4-① 言葉による考えや意見の表現	84	93	92	91	90	91	90	16	7	7	9	10	9	10	0	0	2	0	0	0	0
	4-② 他者意見を活用した思考活動	93	95	92	92	96	96	94	7	5	7	8	4	4	6	0	0	2	0	0	0	0
	4-③ 話し合い活動における言語活動	88	95	90	98	96	93	93	12	5	8	2	4	7	6	0	0	2	0	0	0	0
肯定的意見が90%以上		肯定的意見90～100%							否定的意見41%以上													
否定的意見が21%以上		肯定的意見80～89%							否定的意見31%以上													
									否定的意見21～30%													

運動

【1-① 楽しい運動】

・全校の肯定的意見の割合は 94%であり、6 学年中 5 学年で肯定的意見の割合が 9 割を超えており、十分に達成されている項目である。しかしながら、学年間で達成率に開きがあり、一番高評価の学年と一番低評価の学年では 11 ポイントの開きが見られた。生涯にわたって運動に親しむ姿勢を身につけるためには、運動に親しみ、楽しいという感覚を持つことが大切である。この点をあらためて意識して後半の教育活動を展開し、児童に運動が楽しいという感覚を味わわせていきたい。

【1-② 休み時間の運動活動】

・全校の肯定的意見の割合は 72%であり、概ね達成できている項目といえる。1、2 年生は 95%を超える達成率であるものの、3、4 年生は 70%台で、5 年生は 69%、6 年生は 43%の達成率であった。全体的に上の学年になるほど、「休み時間に外で元気にからだを動かす」といったことが少なくなっている様子が窺える。質問項目に「委員会当番の日を除く」とあるので、純粹に、本校の中学年以上の児童で、休

み時間に外で元気に体を動かす児童がそう多くはないということがいえる。体力向上の観点からも、また、外遊びで適度に体を動かすことによって気持ちを切り替えて、その後の学習に集中して取り組むという点でも、外遊びの習慣化は達成させていきたい。

【1-③ 目標を明確化した体育授業への参加】

・全校の肯定的意見の割合は 95%であり、すべての学年で肯定的意見の割合が高く、十分に達成されている項目である。どの学年の児童もめあてを持って、一生懸命、体育の学習に取り組んでいることがわかる。今後は、体育学習が、休み時間の運動活動につながるように学習活動を考えていきたい。

【1-④ 授業を通じての運動技能の獲得】

・全校の肯定的意見の割合は 90%であり、6 学年中 4 学年で達成率が 9 割を超えており、十分に達成されている項目といえる。しかしながら、達成率が 1 番高かった学年と 1 番低かった学年との間には 21 ポイントの開きが見られ、注意が必要である。児童が、めあてをもって体育学習に取り組んだ結果をきちんと自己自認できるような働きかけをするなど、工夫をして教育活動を展開していきたい。

人権

【2-① 仲間とともに活動する楽しい学校生活】

・全校の肯定的意見の割合は 96%であり、また、すべての学年で達成率が 9 割を超えており、十分に達成されている項目である。特に 6 年生は、肯定的意見の割合が 100%であり、学校生活において友達とともに活動する楽しさをしっかりと味わっているようである。学校生活において充実感を持つことは、新たなことに挑戦しようという意欲を持つことにもつながる。引き続き、児童らが学校生活で充実感を感じることができるよう、きめ細やかな教育活動を展開していきたい。

【2-② 他者承認力と自己向上心】

・全校の肯定的意見の割合は 92%であり、すべての学年で肯定的意見の割合が高く、十分に達成されている項目である。仲間(友達)ががんばる様子を見て「自分もがんばろう」と思うことができる素直さが生駒東小学校の児童の良さであり、今後もこの良さをしっかりと伸ばしていきたい。

【2-③ 他者を慮った声かけ】

・全校の肯定的意見の割合は 94%であり、6 学年中 5 学年で肯定的意見の割合が 9 割を超えており、達成されていると見られる項目である。日頃より、相手のことを考え、優しく声をかけることを意識している児童が多いと言える。しかしながら、校内において、他者を傷つけるようなことを言ったり、行ったりしてトラブルとなる事象が見受けられることも事実である。アンケート結果だけに満足することなく、日頃から児童の様子を注意深く見守り、適切な支援や指導を継続して行い、誰しものが気持ちよく学校生活を送ることができることを目指していきたい。

【2-④ 他者から受けた思いやりの声かけ】

・全校の肯定的意見の割合は 88%であり、達成できているといえる項目である。しかしながら、学年間で評価にばらつきがあり、一番高評価の学年と一番低評価の学年では 24 ポイントの開きが見られ、注意が必要である。他者を思いやる自己の良い面に目を向けるとともに、他者のそのような面を意識させることで他者を受け入れられる寛容さを醸成していきたい。

生活

【3-① 右側廊下歩行】

・全校の肯定的意見の割合は 81%であり、達成できているといえる項目である。低学年、中学年、高学年と成長するにしたがって、達成率が上がっている項目である。学校安全の観点から、正しく廊下歩行することは大切である。発達段階において、低学年の児童は、なかなか理解と行動が伴わないことはあるが、安全な学校生活を送るために必要なことであるということを継続して指導し、児童に身につけさせていきたい。

【3-② 生活目標を意識した学校生活】

・全校の肯定的意見の割合は 87%であり、達成できているといえる項目である。1 年生は 91%の達成率、それ以外の学年は 8 割台の達成率であり、どの学年の児童も生活目標を意識して学校生活を送っていることがわかる。今後も、児童に自己の学校生活のふり返りを継続して行わせることで、児童自身が自己成長を感じ取ることができるようにしていきたい。

【3-③ 集中した清掃活動】

・全校の肯定的意見の割合は 76%であり、概ね達成できている項目といえるが、達成率が 8 割台の学年があるかと思えば、達成率が 6 割台の学年もあり、学年間で 評価にばらつきが見られた項目である。サイレント掃除は、ただ単純に静かに掃除をすることが目的ではなく、静かに集中して掃除をすることで、みんなが使う物や場所をきれいにするといった公共性や勤労意識の醸成を図る教育活動である。あらためて、そういった点を見童らにしっかりと理解させて清掃活動に取り組ませていきたい。

【3-④ 元気なあいさつ】

・全校の肯定的意見の割合は 92%であり、すべての学年で肯定的意見の割合が 9 割を超えており、十分に達成されていると見られる項目である。校内において、多くの児童が、進んで気持ちのよいあいさつをしている姿をよく見かける。しかし、中には挨拶を受けてもしっかりと返すことができなかったり、返しても目を合わさずに返したりする姿も見受けられる。挨拶は、円滑な人間関係に欠かすことができないコミュニケーションであり、今後も、しっかりと指導をしていきたい。

【3-⑤ 生活の約束の順守】

・全校の肯定的意見の割合は 96%であり、すべての学年で肯定的意見の割合が高く、達成されている項目である。しかしながら、児童の様子を見ていると、廊下歩行など学校生活においてきちんとできていないことも見受けられる。また、達成率が 1 番高かった学年と 1 番低かった学年との間には 10 ポイントの開きが見られ、注意が必要である。規範意識の醸成は、児童が社会生活を営むうえで必要不可欠である。引き続き全教職員で見童を見守り支援していきたい。

学習

【4-① 言葉による考えや意見の表現】

・全校の肯定的意見の割合は 90%であり、6 学年中 5 学年で肯定的意見の割合が 9 割を超えており、達成されていると見られる項目である。対話的な学びを実現するためには、自身の考えや意見をしっかりと構築したうえで、相手に伝わるように伝えることが必要となる。多くの児童は、自身の考えをしっかりと表現できていると感じているようである。しかし、これを深い学びにつなげるためには、ただ自身の考えや意見を伝えるだけでは不十分である。一斉授業の場面においても、いかに対話的な場面を増やしていけ

るかということに注力していきたい。

【4-② 他者意見を活用した思考活動】

・全校の肯定的意見の割合は 94%であり、すべての学年で肯定的意見の割合が 9 割を超えており、十分に達成されていると見られる項目である。多くの児童が、学習活動において、他者の意見にしっかりと向き合って思考を深めることができたと感じられていると思われる。特に 5、6 年生は達成率が高く、低学年から積み重ねてきた学習経験がしっかりと身についているといえる。深い学びを実現するためには、他者の意見にしっかりと耳を傾けて思考することが非常に重要である。継続して指導にあたりたい。

【4-③ 話し合い活動における言語活動】

・全校の肯定的意見の割合は 93%であり、6 学年中 5 学年で肯定的意見の割合が 9 割を超えており、達成されていると見られる項目である。4-①の「言葉による考えや意見の表現」よりも全体的に評価が高くなっている。「話す力」について問うた 4-①の項目よりも、小集団で行う「話し合う力」について問うたこの項目の方が高評価であるということから、学習効果を上げるためには学習の場面に応じて学習形態の工夫が重要となってくるということが考えられる。この点を踏まえ、今後も、学習主題に迫るために適切な学習形態の設定を行っていきたい。